



## 《 ① お十夜法要のお知らせ 》

十夜塔婆の申込は TEL : 046-848-0154

FAX : 046-848-4415

秋冷の候、皆様方にはご清祥の御事とお喜び申しあげます。お十夜法要についてご案内です。  
ご先祖様にいただいた「命」のおかげで日々無事に過ごしている感謝を「塔婆供養」を通じお伝えしましょう。

お十夜法要について 法蔵院境内へ夜店出店予定

日程 11/8 厳修 是非本堂へお参りください。人数制限ありません。

&lt;日中法要&gt; 受付 14:15~15:15 回向(えこう) 15:00~16:00

&lt;初夜法要&gt; 受付 17:15~18:15 回向(えこう) 18:00~19:15

&lt;結願法要&gt; 11/9 受付 8:45~9:15 回向(えこう) 9:00~10:00

## A) 十夜塔婆申込 十夜塔婆回向料 金 4,000 円です。

◎申込方法：世話人様へ直接、又は別添塔婆申込書(郵送の方のみ同封)TEL/fax でお申込ください。

◎申込期限：案内着後 11/4 頃までをお願いします。

☆ 生前お世話になった両親、夫妻、近親者の供養は「先祖代々」でなく、「戒名」で塔婆供養しましょう。「先祖代々」とは50年を超える精霊を意味します。

☆ 故人様がお浄土で「成人式」を迎えるまではお戒名でご供養することをお勧めします。

☆ 新十夜供養/亡くなって初めて十夜を迎えるご家庭 別添案内のようにご供養ください。

## B) 十夜法要 当日 海岸県営駐車場規制があります/P3 参照

塔婆申込施主の名前で受付してください/「本尊前」(布施)納めてください

☆ 先に客殿ロービーで受付を済ませてから、本堂にお参りください。

☆ 客殿二階を、休憩席とします。ご利用ください。

☆ 回向間際の本堂内は混み合います。先に客殿2階でお休みいただいても結構です。

## C) 十夜法要以降のお塔婆の受取 11/8 十夜法要に参列できない方

お塔婆お渡し時間：11/9~11/14 10:00~16:30/庫裡玄関にて塔婆をお受取り下さい。

☆ 塔婆受け取り後、本堂へお参りいただき、お墓へお塔婆を供えてください。

☆ FAX 等でお申し込みの場合、お塔婆受取時に代金を納めてください。

## ☆塔婆供養について

「先祖代々」は 50 回忌を済まされた先祖様ですが、50 回忌まではなかなか勤められません。皆さんが最後に親に祝ってもらった「お祝い」は「成人式」です。この世に生を受けてから世話になった「両親」に誰もが祝ってもらった日です。お世話になられた故人様が「あの世で成人式」を迎えられるまでは「先祖代々」ではなく「お戒名」で塔婆供養しましょう。恩返のご供養です。

2023年11月8日  
十夜法要の様子



法蔵院の十夜法要は、浄土宗本山鎌倉光明寺で勤めていた十日間の法要を、長井「不断寺」、三崎「光念寺」そして法蔵院へ2日間分けて勤めるよう命ぜられました。現在も残りの4日間を光明寺が勤め、不断寺、光念寺、法蔵院で2日間勤めています。ほかの寺院の十夜では出ない夜店もこの4寺の十夜では出店され販わっています。

十夜法要では、衣装をまとったかわいい稚児が出勤、本尊様へ献香、献燈、供物、供花をあげ、僧侶と共に本尊様の周りを「お経」を唱えながら行道/ぎょうどう(歩くこと)し、鉦搦中/しょうこうちゅうと呼ばれる僧侶でない方が、お経の間に「六字詰め念仏/ろくじづめ」を大きな太鼓と雲版を鳴り響かせ唱えます。僧侶と在家の方が共に勤める法要が十夜法要です。

浄土宗で大切にされている「無量寿経」の中には、お十夜に参加され一緒にお念仏を唱えることは、仏様の国で 1000 年善い行いを修するよりも優れている。と説かれています。是非この機会にご参拝され共にお念仏をお唱えしてご先祖様のご供養と自身の修養をお勤めしましょう。

### 「六字詰念仏」

法蔵院の太鼓・鐘は西暦 1880 年・明治 13 年製と記されています。140 年前の太鼓・鐘の音を聴きながら、ご一緒にお念仏をお唱えして「無病息災」「阿弥陀様からいただいているありがたい命」に感謝いたしましょう。「六字詰念仏」は 鐘搦中の方々が、早くから修礼(しゅうれい)を繰返してきました。修繕した太鼓からは法蔵院檀信徒のご先祖様が聞かれ同じ音が今も十夜法要で鳴り響いています。



鐘搦中による「六字詰念仏」



(ア) 施餓鬼同様、「**当日受付順**」に塔婆供養します。

当日は以下のように受付してください。施餓鬼法と同様に受付ます。

1. 受付 塔婆申込者の名前(施主名)を伝えてください。  
塔婆料未納の場合は納入ください。
2. 供物受取 ア) 付届けを納めた方は、供物、おふだ、散華をお受け取りください。  
イ) 塔婆供養 1 本につき、菓子 1 袋お受け取りください
3. 上記が済みましたら、本堂内で法要開始までお待ちください。  
堂内が混んでいる場合は回向前に客殿 2 階でお休みください。
4. 塔婆供養が済みましたら、客殿 2 階でお休みください。
5. 檀信徒の皆様にはご理解いただき十夜法要のスムーズな進行にご協力ください。

先祖から頂いた「命」のお陰様で日暮させていただいています。その恩を唯一形で表せる供養が「塔婆供養」です。

ある僧侶が言いました。「塔婆供養は誰もがやがて供養される立場になる。塔婆供養できるのは生きているうちだけ。だから生きている間は塔婆供養して先祖に感謝の気持ちを表しなさい」 その通りですね。

(イ) お稚児さん お子様、お孫様 是非ご参加ください

幼稚園年少児位～小学校 5 年生位の女兒/身長 1 5 5 cm位まで  
「お稚児さん」に出ただけのお子様がいらっしゃいましたら  
らお世話人様、またはお寺までご連絡下さい。期限 10/26

昔から、お稚児さんに出ると「心の優しい子になって安産だ」という言い伝えがあります。

スケジュール

11/7 練習/16:30 法蔵院本堂集合(平服で結構です)

11/8 16:45/集合～ 18:00/法要～ 18:50 頃終了～ 19:00/着替え解散



稚児申込書

**お稚児さんの様子P4参照**



稚児/LINE での申込方法

上の、稚児申込書にアクセスしていただき、必要な内容を記入して  
←の LINE へ送付してください

(ウ) 法蔵院下、**下浦海岸第 1 駐車場の閉鎖**について/**法蔵院第 2.3 駐車場は利用可能です**

理由: 11/8～法蔵院下海岸でウインドサーフィンワールドカップ開催のため。

諏訪神社下、下浦海岸第 2 駐車場は下記の時間利用可能です。

**11/8 21:00 まで利用可能 下浦海岸第 2 駐車場 ホームページ →**



① 「法蔵院駐車場」は、ウインドサーフィンワールドカップ開催のため、主催団体へ貸し出します。墓参、法要等でご来寺の際、ご理解ご協力の程お願いいたします。

期 間

2023 年 11 月 9 日～11 月 12 日

対象駐車場

法蔵院駐車場 第 1～第 5 駐車場 海岸県営駐車場

代替え利用

来寺、参拝者様は法蔵院境内をご利用ください。

② 11/9 法蔵院境内が、三浦半島オレンジウォークのゴールになっています。来寺の際は境内山門側を駐車にご利用ください。オレンジウォーク受付にて「法蔵院檀家」の旨伝えていただければ「みそ汁」を提供いただけます。日中は境内の混雑が予想されます。予めご了承ください。

(工) 令和7年慶賛法要について

日程：令和7年5月18日 午後～

- 内容： 1. 法蔵院開創800年法要  
2. 住職僧正叙任法要  
3. 副住職就任法要  
4. 本堂内前机新調落成法要



(才) 境内舗装工事について

境内舗装工事を行っています。

11/8 十夜法要までに完了する予定です。

法蔵院第3 駐車場舗装工事完了。

今後、幼稚園前通路舗装工事予定。



(力) ご詠歌のお稽古とお経の勉強会のお知らせ

未経験の方も是非ご参加ください

ご詠歌のお稽古 10/25 14:00～

お経の勉強 11/18 14:00～



以上

# お稚児さんの様子



## お十夜の意味

お十夜は、正しくは「十夜法要」「十夜会」などともいい、十月から十一月にかけて全国の浄土宗寺院でひろく勤められる念仏会のことです。

この法要は、浄土宗で最も大切にする経典

のひとつで、阿弥陀仏の誓いや極楽浄土の相を説く『無量寿経』の中に「煩惱や誘惑の絶えないこの娑婆世界で十日十夜の善行を積むことは、仏さまの国で千年の善行を修めるよりも勝れている」と説かれることに由来します。

浄土宗での最上の善行はお念仏です。つまりお十夜とは、元来、十日十夜の間、お念仏をとなえる法要なのです（近年では数日あるいは一日で行うことが多いようです）。

ぜひ菩提寺のお十夜に参詣され、穏やかなこころでお念仏をとなえる時間を過ごされてはいかがでしょう。毎日の忙しさにせかされて、つい忘れがちなこころのゆとりも、きっと見つかるはずです。そうしてとなえる「南無阿弥陀仏」の声は、ご先祖さまへのご供養となり、わたしたち自身の極楽往生をかなえる功德となるのです。

